

第1 総括事項（公益目的事業）

公社は、愛知県内における上下水道施設及び排水施設等社会インフラの適正かつ効率的な運営管理等を行うとともに、そこで得た知識及び技術を社会に積極的に移転、拡大して、県内の環境保全と公衆衛生の向上及び災害の防止を図り、もって地域の健全な発展に寄与することを目的として活動しました。

第2 庶務に関する事項

1 評議員会及び理事会の開催

開催年月日 開催内容	審議事項		議決内容
令和4年4月1日(金) 第46回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 提案事項3	常務理事の選定について 重要な使用人の選任について 第37回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和4年4月14日(木) 第37回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員及び評議員の報酬額の決定について	原案どおり同意
令和4年4月22日(金) 第47回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2	第38回評議員会の目的である事項に係る議案について 第38回評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意
令和4年4月28日(木) 第38回評議員会 決議の省略による	提案事項	評議員の辞任に伴う補欠選任について	原案どおり同意
令和4年5月30日(月) 第48回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 報告事項	令和3年度事業報告について 令和3年度決算について 第39回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり了承
令和4年6月20日(月) 第39回評議員会	第1号議案 報告事項	令和3年度決算について 令和3年度事業報告について	原案どおり承認 原案どおり了承
令和5年2月7日(火) 第49回理事会 決議の省略による	提案事項	評議員会の招集について	原案どおり同意
令和5年3月15日(水) 第40回評議員会 決議の省略による	提案事項	役員の報酬額の改定について	原案どおり同意

令和5年3月15日(水) 第50回理事会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2	令和4年度補正収支予算について 評議員会の招集について	原案どおり同意 原案どおり同意
令和5年3月24日(金) 第41回評議員会 決議の省略による	提案事項1 提案事項2 報告事項	定款の変更について 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 令和4年度補正収支予算について	原案どおり同意 原案どおり同意 原案どおり同意
令和5年3月29日(水) 第51回理事会	第1号議案 第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案 第7号議案 第8号議案 報告事項	令和5年度事業計画について 令和5年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 事務局組織規程の一部改正について 就業規程の一部改正について 職員の定年前再任用短時間勤務及び暫定再任用に関する規程の制定について 退職給付引当準備資金取扱規程の廃止について 第42回評議員会の目的である事項に係る議案(評議員、理事の補欠選任)について 第42回評議員会の招集について 職務執行状況について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承
令和5年3月29日(水) 第42回評議員会	第1号議案～ 第4号議案 第5号議案～ 第7号議案 報告事項1 報告事項2	評議員の辞任に伴う補欠選任について 理事の辞任に伴う補欠選任について 令和5年度事業計画について 令和5年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて	原案どおり可決 原案どおり可決 原案どおり了承 原案どおり了承

2 評議員の異動

異動年月日	評議員名	氏名	摘要
令和4年4月1日	評議員	阪野 芳彦	就任
	評議員	木和田 治伸	就任
	評議員	多和田 雅也	就任
	評議員	大松 季也	就任
	評議員	成瀬 光明	就任
	評議員	水野 隆	就任
令和4年4月30日	評議員	舛田 直樹	辞任
令和4年5月1日	評議員	久保 宜之	就任
令和5年3月31日	評議員	荻野 恭浩	辞任
	評議員	白井 啓貴	辞任
	評議員	水野 秀彦	辞任
	評議員	成瀬 光明	辞任

3 理事の異動

異動年月日	役員名	氏名	摘要
令和4年4月1日	理事	加藤 清史	就任
	理事	小嶋 幸則	就任
	理事	長谷川 勝正	就任
	理事	長谷川 久高	就任
令和5年3月31日	理事	小嶋 幸則	辞任
	理事	水谷 博光	辞任
	理事	榑原 伸尚	辞任

4 監査の実施

実施年月日等	事項	摘要
毎月	例月監査	監事 菅沼 利元
四半期	四半期監査	監事 菅沼 利元 倉本 繁八
令和4年5月26日	令和3年度事業報告について 令和3年度決算報告について	監事 菅沼 利元 倉本 繁八

第3 令和4年度事業実績の概要

1 下水道部の事業

(1) 流域下水道施設に関する技術等を活用した事業

ア 流域下水道運営管理

愛知県が設置した 11 流域下水道（豊川、五条川左岸、境川、衣浦西部、矢作川、衣浦東部、日光川上流、五条川右岸、新川東部、日光川下流及び新川西部）について、指定管理者として、適正な運営管理事業を実施し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図りました。

その他、豊川浄化センターと矢作川浄化センターで、冬場に低下傾向を示す三河湾の栄養塩類の濃度を回復させ、漁業生産の維持安定化を図るため、9月からリン濃度、11月からは窒素濃度にも拡大し、社会実験として放流水質上限値の変更に対応した運転を、3月まで行いました。

また、新たに名古屋港に放流する日光川下流浄化センターにおいても、12月中旬から3月までの間、リン濃度を対象とした栄養塩類を増加する試験運転を行いました。

アセットマネジメントシステム(ISO55001)を全流域で運用して、業務の改善に意欲的に取り組みました。

(ア) 水処理業務

各市町より流入する下水を適切に処理し、良好な処理水質を確保するため以下の業務を実施しました。

- a 汚水ポンプ、最初沈殿池、反応槽、最終沈殿池、薬品混和池、ブロワなど各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 汚水の各処理段階での状況確認や調査分析結果などを基に、コスト低減及び、省エネルギー等に考慮した処理計画を立案し、運転管理を行いました。また、流入水の水質や水量の変動に対して迅速な状況判断による運転操作を行い、適切な処理を実施しました。
- c 放流水質については、各種の分析試験及び測定を行い、法令等の基準の遵守を確認しました。

(イ) 汚泥処理業務

水処理の過程で発生した汚泥の適切な処理処分を行う為、以下の業務を実施しました。

- a 濃縮槽、脱水機、汚泥焼却設備など各設備の運転操作、監視、点検、調整及び修繕を行いました。
- b 発生した汚泥について成分等の分析を行い、処理処分に対する法令等の基準の遵守を確認しました。
- c 汚泥の有効利用として、民間企業によりセメントや肥料等の原料として再生利用しました。

(ウ) 計測点監視業務

計測点における水量、水質についてテレメータによる常時監視と定期巡回を実施し、流量の測定、悪質下水の監視及び流入防止に必要な措置を講じました。

令和4年度 流入水量及び汚泥発生量

浄化センター名	流入水量 (千m ³)	汚泥発生量 (t)	焼却灰発生量 (t)
豊川浄化センター	28,838	14,632	1,087
五条川左岸浄化センター	27,007	16,876	629
境川浄化センター	61,527	47,326	—
衣浦西部浄化センター	21,109	16,703	774
矢作川浄化センター	83,247	63,508	2,268
衣浦東部浄化センター	9,853	8,467	—
日光川上流浄化センター	14,950	12,144	—
五条川右岸浄化センター	10,115	9,188	—
新川東部浄化センター	4,259	3,561	—
日光川下流浄化センター	7,533	5,702	—
新川西部浄化センター	1,347	1,248	—
合 計	269,785	199,355	4,758

※表示桁数未満は四捨五入のため、合計値と合わないことがあります。

※焼却灰は加湿灰、乾燥灰を問わず搬出時の計量重量を計上しています。

※衣浦西部の焼却灰発生量には市町汚泥受入分は含みません。

イ 汚水及び汚泥の処理方法の調査研究

効率的で安定的な維持管理に資するため、汚水処理及び汚泥処理などに関して、以下のテーマで調査研究を行いました。

- (ア) 栄養塩管理運転に関する調査研究
- (イ) メンブレンパネル式散気装置の劣化状況に関する調査

(2) 下水道に関する技術及び知識の普及・啓発、技術支援事業

ア 下水道知識等の普及啓発活動

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県が行う普及啓発イベントが中止となりましたが、感染拡大状況に応じて対策を講じながら以下の活動を行いました。

広く県民の皆さまに下水道への理解と関心を深めていただくとともに、下水道への接続利用の促進を目的として、各浄化センターで「処理場見学」や「夏休み親子下水道教室」を開催しました。

また、県が小学校へ出向いて下水道の授業を行う「下水道出前講座」に協力しました。

その他、東海学園大学において、管理栄養士を目指す学生を対象に特別講義を実施し、啓発活動を行いました。

- (ア) 処理場見学
見学者：5,487名
- (イ) 夏休み親子下水道教室

参加者：8浄化センター合計 380名

(ウ) 下水道出前講座（県への協力）

参加者：12校 1,039名

(エ) 普及啓発イベント（県への協力）

来場者数：延べ4,575名

(オ) 東海学園大学の特別講義

実施日：令和4年7月4日(月)～6日(水) 受講生：78名

東海学園大学で下水道（厨房排水）について講義するとともに、学生と一緒に料理の美味しさと排水負荷低減を両立する調理方法について検証することで、環境に与える負荷について啓発を行いました。

イ 下水道科学館（愛称メタウォーター下水道科学館あいち）の運営管理

アクティオ（株）との共同体で指定管理者として運営管理を行っている下水道科学館については、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、来館者の安全を第一に運営管理をしました。

8月「夏だ！ワクワク科学館まつり」、12月「エッピー祭」を始め、さまざまなイベントや体験学習会、観察会などの下水道と水環境に関する啓発事業を行い、利用促進に努めました。

（利用者数：75,833名 うち団体 330団体 7,775名 満足度86）

また、ネーミングライツパートナーであるメタウォーター（株）とともに、イベントを行いました。

ウ 下水道研究報告会・下水道技術講習会の開催等

県内自治体等の下水道関係職員を対象に、下水道に関する知識や技術を高めることを目的に、次に掲げる事業を実施しました。

研究報告会、技術講習会は、従来の会場開催に加え、感染防止の観点からライブでのネット配信により開催しました。

(ア) 下水道研究報告会

下水道に関する調査研究成果の報告会を開催しました。

開催日：令和4年7月12日 参加者数：97名（うちネット配信参加43名）

(イ) 下水道技術講習会

外部から講師を招き、下水道事業に関わる様々な情報を提供する講習会を開催しました。

開催日：令和4年12月8日 参加者数：90名（うちネット配信参加32名）

(ウ) 下水道技術研修会

流域関連市町などの下水道関係者を対象とした水質管理や汚泥処理技術、事業場排水監視に関する技術研修会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業所開催の一部を书面開催とするとともに、管理課で開催する研修会は現地での対面とネット配信により実施しました。

開催回数：15回 参加者数：延べ277名

(エ) 講師の派遣

中部地方下水道協会主催の技術技能研修へ6名の講師を派遣しました。

エ 自治体下水道事業への技術支援事業

県、市及び日本下水道事業団から業務を受託し、技術的な支援を行いました。

- (ア) 矢作川流域下水道事業のうち工事監督支援業務受託(機械・電気設備工事)(愛知県)
- (イ) 合流改善水質検査業務(刈谷市)
- (ウ) 日本下水道事業団との連携による県内自治体への技術援助
(尾張旭市、長久手市、東海市、田原市)

2 水道緑地部の事業

(1) 水道施設等運営管理事業

県営水道用水供給事業の施設並びに県営工業用水道事業の水源(佐布里池)及び施設に関する業務を受託し、実施しました。

ア 機器点検・測定業務

浄水場等の水質計器、無停電電源装置及び電食防止設備の点検・測定を実施しました。

	設 備	内 訳	設 置 施 設
点検 (1,328台)	水 質 計 器 (436台)	濁度計 106 台、PH 計 128 台 残塩計 118 台、その他 84 台	高蔵寺浄水場 始め 75 施設
	無停電電源装置 (478台)	充電装置 209 台、蓄電池 208 台 インバータ 61 台	高蔵寺浄水場 始め 145 施設
	電 食 防 止 設 備 (414基)	整流器 337 基、排流器 30 基 ボンド 47 基	管路 994km
測 定	電 食 防 止 設 備 (2,894箇所)	管対地電位 2,676箇所 陽極発生電流 218箇所	

イ 佐布里水源の森関連業務

佐布里池周辺の樹木管理等の環境整備を実施しました。

業 務 内 容	数 量	内 訳
草刈・寄植剪定・伐竹	166,137 m ²	草刈 158,692 m ² 、寄植剪定 4,040 m ² 伐竹 3,405 m ²
樹木剪定・植栽撤去	396 本	樹木剪定 196 本、植栽撤去 200 本
希少植物保全管理	1 式	
ダム周辺清掃	55,344 m ²	
水の生活館受付・清掃	1 式	

(2) 排水機場等運営管理事業

日光川排水機場始め6排水機場及び日光川水閘門の、運転操作及び点検整備の業務を受託し、実施しました。

区 分		増水運転 操作回数	増水運転 時間	管理運転 操作回数	
日光川排水機場		465 回	15 回	70 時間	42 回
日光川河口排水機場			8 回	37 時間	24 回
筏川排水機場			316 回	1,078 時間	0 回
蟹江川排水機場			105 回	186 時間	28 回
西中野排水機場			12 回	28 時間	81 回
尾西排水機場			9 回	22 時間	59 回
日光川	水 門	1,831 回	384 回		
水閘門	閘 門		1,447 回		

(3) 上記の(1)、(2)の事業に関する技術及び知識の普及・啓発に関する事業

ア 水道知識の普及

自治体水道職員への水道知識の普及を目的に、水道の課題等に関する講演会及び水道技術に関する基礎研修を開催する予定でしたが、9月の水道技術基礎研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

催 行	開催日	内 容	参加者	
講演会	6月3日	「水質等に関する最近の動向 や話題」 国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官 浅見真理氏	市町の水道職員等 116 名	
	8月5日	「近年の気象災害と天気予報 の活用術」 気象キャスター 土井邦裕氏	市町の水道職員等 74 名	
電気防食 研修	6月20日	電気防食等についての講義、 施設点検見学及び実習	県企業庁の職員 10 名	
水道技術 基礎研修	9月27日 【中止】	水道の歴史、浄水処理及び水 質管理、送配水管管理等につ いての講義、実習	市町若手 水道職員	—
	9月28日 【中止】			—

イ 水道に関する啓発

県民に水道の大切さや水源保全について理解を深めてもらうため、県等関連機関と連携して、啓発チラシやボトルウォーターを配布するなどの啓発活動を実施する予定でしたが、5月の水道週間PR活動と10月の水源保全PR活動については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から主催者により中止されました。

イベント名	実施日	実施場所	啓発対象者
水道週間PR活動	R4.5【中止】	県内6箇所	来場者及び通勤・通学客
水源保全PR活動	R4.10【中止】	豊田市	活動に参加した地域住民
佐布里池梅まつり	R5.3.4	知多市	梅まつり来場者

ウ 水害に関する啓発

排水機場等の見学者、視察者に対し、排水機場及び水閘門が果たす役割や水害に対する意識を高めいただくために、県による啓発活動の補佐を行いました。(39団体、見学者数512人)